

製品名: POLR1E ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16354**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	POLR1E
別名	POLR1E; PAF53; PRAF1; DNA-directed RNA polymerase I subunit RPA49; RNA polymerase I subunit A49; DNA-directed RNA polymerase I subunit E; RNA polymerase I-associated factor 1; RNA polymerase I-associated factor 53
遺伝子 ID	64425.0
SwissProt ID	Q9GZS1
免疫原	ヒト POLR1E の内部領域から得られた合成ペプチド。

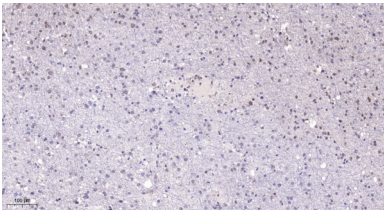
背景

機能:DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として DNA から RNA への転写を触媒します。リボソーム RNA 前駆体を合成する RNA ポリメラーゼ I の成分です。Pol I と UBTF/UBF との相互作用を媒介することにより、プロモーターにおける開始複合体の形成に関与しているようです。類似性:真核生物の RPA49/POLR1E RNA ポリメラーゼサブユニットファミリーに属します。サブユニット:少なくとも 13 のサブユニットからなる RNA ポリメラーゼ I (Pol I) 複合体の成分です(類似性による)。PAF49/CD3EAP と相互作用します。UBTF/UBF にも結合します。機能:DNA 依存性 RNA ポリメラーゼは、4つのリボヌクレオシド三リン酸を基質として DNA から RNA への転写を触媒します。リボソーム RNA 前駆体を合成する RNA ポリメラーゼ I の成分です。Pol I と UBTF/UBF との相互作用を媒介することで、プロモーターにおける開始複合体の形成に関与していると考えられる。類似性:真核生物の RPA49/POLR1E RNA ポリメラーゼサブユニットファミリーに属する。サブユニット: 少なくとも 13 個のサブユニットからなる RNA ポリメラーゼ I (Pol I) 複合体の構成要素 (類似性による)。PAF49/CD3EAP と相互作用する。また、UBTF/UBF にも結合する。、

研究分野

プリン代謝;ピリミジン代謝;RNA ポリメラーゼ;

画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。